

海とみどり、歴史を活かす癒しのしま

志岐市

志岐市市勢要覧

改訂版

IKI CITY INFORMATION





市長 長田 徹

吉岐市は、平成16年3月1日、長崎県吉岐郡郷ノ浦町、勝本町、芦辺町、石田町の4つの町が合併し、県下10番目の市として誕生いたしました。

先人の皆様が育んでこられた碧い海や豊かな緑などの恵まれた自然そして、人情味溢れる風土は、次代に引き継いでいかなければならない島の貴重な財産です。

また、中国の「魏志倭人伝」に「支国」として登場いたします吉岐には、弥生時代から近世にかけての歴史遺産が満ち溢れております。特に、「原の辻遺跡」は、国内最大級の環濠集落であり、弥生時代の集落としては国内3ヶ所目となる特別史跡として平成12年に国指定を受けております。

これらの歴史遺産や豊かな自然環境などの地域資源を生かし、全国に、また、これからは世界に情報発信することによって、交流人口の増加を図り、農業・漁業はもとより、地域産業を再生していかなければなりません。

また、市民の誰もが歴史浪漫の水先案内人として、観光客をもてなすことができるようなまちづくりについても、市民と協働で進めていかなければなりません。

本格的な地方分権時代を迎えた今、この合併を契機として市民一人ひとりの英知を結集し、ゆとりと豊かさを実感できる、海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、吉岐「を目指し、新しいまちづくりを進めてまいります。

(平成17年11月)

吉岐市行政区のあゆみ

- 明治4年7月14日 廃藩置県により平戸県となる。
- 明治4年11月14日 長崎・平戸・島原・福江・大村を合わせて長崎県の管轄となる。
- 明治5年2月 区制施行により、吉岐を第76大区・77大区・78大区の3大区とし、浦を村に合わせて22小区(22村)に区分。吉岐の自治制の基礎ができる。
- 明治6年12月 3大区を廃止し、全島を第30大区とする。
- 明治11年10月 郡区町村編制法が制定され、吉岐郡・石田郡の2郡となり22村に分けられる。
吉岐石田郡役所が武生水村に置かれる。
- 明治22年4月1日 市町村制施行により、吉岐・石田の2郡、12村(武生水村・渡良村・柳田村・沼津村・志原村・初山村・香椎村・鯨伏村・田河村・那賀村・箱崎村・石田村)となる。
- 明治29年4月1日 吉岐・石田の2郡を合併、吉岐郡となる。
- 大正11年8月 吉岐総村組合設立。
- 大正14年4月1日 武生水村が武生水町となる。
- 大正15年7月1日 吉岐郡役所を廃止して吉岐支庁が設置される。
- 昭和10年4月1日 香椎村が勝本町となる。
- 昭和22年11月3日 田河村が田河町となる。
- 昭和23年4月1日 吉岐郡12町村をもって吉岐郡町村組合を設立する。
- 昭和30年2月11日 町村合併促進法により、武生水町・渡良村・柳田村・沼津村・初山村・志原村の6町村が合併して郷ノ浦町となる。
また、勝本町・鯨伏村が合併して勝本町となる。
- 昭和30年4月1日 田河町・那賀村が合併して芦辺町となる。
- 昭和31年9月30日 芦辺町に箱崎村を編入する。
- 昭和33年4月1日 郷ノ浦町の久喜触を石田村に編入する。
- 昭和36年4月1日 芦辺町湯岳地区の射手吉触・興触を石田村に編入する。
- 昭和45年8月1日 石田村が石田町となる。
- 昭和56年4月1日 吉岐郡町村組合を吉岐広域圏町村組合と改称する。
- 平成16年2月29日 合併に伴い吉岐広域圏町村組合が解散する。
- 平成16年3月1日 郷ノ浦町・勝本町・芦辺町・石田町が合併して吉岐市となる。



人口・面積 (H17.3月末)	
梶崎市	32,807人 138.45km ²
郷ノ浦町	12,135人 47.31km ²
勝本町	6,839人 29.51km ²
芦辺町	8,969人 45.12km ²
石田町	4,864人 16.51km ²

地形	
広域	東西 約15km 南北 約17km
最大標高	212.9m(岳ノ辻)
周囲(農島含む)	約191km



「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、梶岐」

概要

梶崎市は、平成16年3月1日に郷ノ浦町・勝本町・芦辺町・石田町の4町が合併して誕生しました。

梶崎市は、福岡県と対馬の中間地点で玄界灘に面し、福岡県博多港から郷ノ浦港まで西北76km、佐賀県呼子港から印通寺港まで北26kmの位置にあります。

南北約17km、東西約15kmのやや南北に長い亀状の島で、総面積は138.45km²、梶岐本島と21の属島(有人島4・無人島17)からなる全国で20番目(沖縄は除く)に大きな島です。

地形は一般に丘陵性の玄武岩をなし、高度100メートルを超える山地が占める面積は極めてわずかです。分水嶺は西に偏り、谷江川は北西から南東に、幡鉾川は西から東に流れ、その流域には、本島最大の平野(深江田原)が発達しています。

海岸線は屈曲が多く、発達した海蝕岩がみられる北東部を除けば、大小の湾入があります。特に、西岸一帯は激

しく、潮谷の原型を保っており、南東岸には、大小の砂浜が点在しています。

昭和43年7月22日に、梶岐の一部地域が梶岐対馬国定公園に指定、また、昭和53年6月16日には、辰の島・手長島・妻ヶ島の3ヶ所が海中公園地区に指定されるなど自然景観にも恵まれています。

現在、梶崎市では「①産業振興で活力あふれるまちづくり、②福祉・健康づくりの充実で安心のまちづくり、③自然を生かした、環境にやさしいまちづくり、④心豊かな人が育つまちづくり、⑤国内外交流が盛んなまちづくり、⑥さまざまな人が関わり合うまちづくり」の6つの基本指針のもと、「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、梶岐」を目指し、新しいまちづくりを進めています。

気象

対馬暖流の影響を受け、概ね温暖な海洋性気候です。県本土の長崎市・佐世保市と比較すると、年間を通して1〜2度低く、同緯度の福岡県北部と比較すると、夏季は涼しく、冬季はやや温暖で、降雪や積雪もまれです。

降水量は、6・7月の梅雨期と9月の台風、秋雨時期に多く、県本土よりはや少ない傾向にあります。

農業

Agriculture

吉岐市の主な作物は、水稲・葉たばこ・肉用牛の基幹作物を中心に、メロン・いちご・アスパラガスなどの施設園芸や野菜・花きなどを取り入れた複合経営が主体となっています。

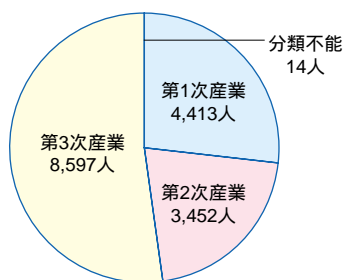
今後、省力的な農業経営を推進し、生産組合など多様な担い手を確保・育成するとともに、水源涵養（かんよう）や自然環境の保全など、公益的役割を担っている農地の有効活用を図っていきます。

水産業

Fishery industry

水産業は、好漁場に恵まれ、平成15年末の登録動力漁船は2,291隻で、イカ・ブリ・タイ・メダカなどを主要漁獲としています。また、岩礁地帯が多いことから、アマノイナゴなどの磯根資源も豊富です。

今後は、漁業の安定生産のため、栽培漁業・資源管理型漁業の推進により、資源の積極的な増大と適正な管理に努めるとともに、



就業構造 計16,476人
(平成12年国勢調査)

1
IKI CITY
PROFILE

産業振興で活力あふれるまちづくり

漁港・漁場の総合的な整備
や沿岸環境保全の取り組み
などによる安定した生
産体制を構築していきます。

商工業

Commerce and Industry

商業は、個々の商店が、
消費者にとって魅力のある
店として活性化を図ると
ともに、商店街内の空き店
舗を減らし、活気ある商店
街を作るため、買物客が積
極的に利用できるさまざま
なサービスを提供などを
図っていきます。

観光業

Sightseeing Industry

観光は、通年型観光
機能の充実、体験型観
光の促進のほか、外国か
らの観光客を誘致する
など、国際観光の推進
も図っていきます。

さらに、農業・水産
業など異業種との連
携を推進し、志岐は
ひとつの心で観光産
業の活性化を図り、
観光振興によるまち
づくりを推進して
いきます。



農家戸数

単位：戸

販売農家			自給的農家	総数
専業	第1種兼業	第2種兼業		
450	378	1,759	566	3,153

(平成12年 農業センサス)

農家人口

単位：人

就業人口	総数
4,185	12,916

(平成12年 農業センサス)

米生産量・肉用牛飼育頭数・葉たばこ生産量、生産額

米		肉用牛		葉たばこ	
生産量(t)	生産額(百万円)	飼育頭数(頭)	生産額(百万円)	生産量(t)	生産額(百万円)
5,200	1,530	11,689	2,350	307	632

(平成15年長崎県農林水産統計年報)

漁協組合員数・漁業生産量・漁業生産額

組合員数(正・准)人	漁業生産量(t)	漁業生産額(百万円)
3,913	9,657	7,154

(平成15年長崎県農林水産統計年報)

焼酎出荷数・うに販売額

焼酎出荷数(kl)
2,448
うに販売額(百万円)
993

(平成15年)

福祉・健康づくりの充実で安心のまちづくり



福祉

Welfare

現在、高齢者や障害を持つ人など、社会的な支援がないと日常生活を維持できない人の増加や、それを支える介護力の低下が問題となっております。

このため今後も、高齢者・障害者福祉施設や福祉サービスの充実など、福祉の向上を図っていきます。また、保健・医療・福祉の連携や、高齢者同士が支え合う地域福祉システムを確立するほか、ボランティアが活動しやすい環境づくりも進めていきます。さらに、高齢者や障害を持つ人にも優しい、ユニバーサルデザイン（バリアフリーも含む）のまちづくりについても推進していきます。

保健

Health

吉岐市の65歳以上人口は平成17年3月31日現在で9445人、高齢化率は28.8%となっております。また、介護保険制度による要介護認定率は18.2%で

医療施設数 (平成17年)

病院	7ヶ所(市立2、法人5)
診療所	16ヶ所(市立4、法人・個人12)
歯科診療所	法人・個人 9ヶ所
老人訪問看護ステーション	法人 1ヶ所

福祉施設数、定員数 (平成17年)

老人ホーム	定員110名
特別養護老人ホーム	定員160名
デイ・サービスセンター	6ヶ所(市立1、法人5)
老人保健施設	法人 2ヶ所
保育所	7ヶ所(市立6、私立1)
へき地保育所	市立 6ヶ所



医療

Medical treatment

長崎県平均の19.3%よりやや低い状況です。
 今後は、高齢者が豊富な知識や経験、技術を生かし、地域社会において積極的な役割を果たすことが期待されています。シルバーク人材センターの設立などを進め、高齢者が地域社会のなかでいきいきと生活できる環境づくりを推進していきます。

吉岐市には中核となる吉岐市民病院を含め、病院7・一般診療所15・歯科診療所9の計31施設の医療機関があります。

市内唯一の総合的機能を持つ吉岐市民病院は平成17年5月1日に新築移転オープンいたしました。さらにはその機能が十分発揮できるよう、市内外の医療機関との連携を図り、医療の質向上に努め、医療機関としての充実を図っていきます。

生活環境

Life environment

市内には、農村公園・都市公園など、多様な公園があります。

今後も、自然との調和を図りながら、それぞれの地域の特長をさらに生かした整備を行い、歴史・文化が調和する個性や多様性にも重点を置いた魅力あふれる空間を創出していきます。

消防・防災

Fire fighting and disaster prevention

吉岐市の消防体制は、1本部・1署・1支署・2出張所で、署・出張所ともに消防ポンプ車・救急自動車などを配置しています。今後は、防災・防犯に関して、吉岐市の地域防災計画を基本に、市民の防災意識の高揚、自主防災体制の確立を図っていきます。また、地震災害・原子力災害の予防対策などについても、検討を行っていきます。

交通安全の確保については、幼児・児童・高齢者・身体に障害を持つ人などの



IKI CITY PROFILE **3**

自然を生かした、環境にやさしいまちづくり

交通弱者に配慮した、各種の交通安全施設を整備していきます。

水道・ゴミ

Water service and Garbage

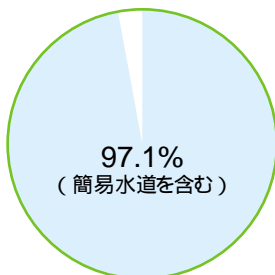
吉岐市の水道普及率は97・1%ですが、給水量の約26%を河川(ダム)、残り約74%を地下水から取水しています。

また、吉岐市のゴミ処理は旧4町ごとに立地・運営されていた廃棄物関連処理施設があり、平成16年での処理総数は約7千8百トンで、市民の生活・消費活動の多様化に伴い、ゴミの排出量が年々増加傾向を示し、環境に及ぼす影響は深刻なものになっています。

今後、排出されたゴミの適正処理という考えのみでなく、「できるだけゴミを出さない」、「排出されたゴミは可能な限り、リサイクルする」という観点を重視した、資源循環型ゴミ処理システムを確立していきます。



上水道の普及率(平成17年)



ダム貯水量 (平成17年)

治水	勝本ダム	108万トン
	永田ダム	23万トン
多目的	男女岳ダム	13.3万トン
灌漑	梅ノ木ダム	70万トン
	当田ダム	44万トン
水道	門野田貯水池	1.9万トン
	大山貯水池	8万トン
	西崎貯水池	10.5万トン

港湾・漁港数 (平成17年)

港湾	重要港湾	郷ノ浦港
	地方港湾	勝本港、印通寺港、森ノ浜港
漁港	第4種漁港	大島漁港
	第3種漁港	芦辺漁港
	第1種漁港	15漁港

河川延長 (平成17年)

二級河川(7水系16河川)・・・管理延長 39.643km

学校教育

School Education

吉岐市の教育は平成17年5月1日現在、小学校18校・中学校10校・高等学校2校の計30校に、4216名の児童・生徒が在籍し、472名の教職員により、教育活動が展開されています。

学校教育では、健やかな精神と身体、創造的な知性、豊かな感性を養い、国際化・情報化などの時代の潮流に自ら対応できる、「自立できる人づくり」を推進していきます。また、過疎化・少子化は、学校教育にも大きな影響を与えており、児童・生徒数の減少が続くなか、教育水準を維持するために、学校規模の適正化についても検討していきます。

社会教育

Social Education

学びあう心を育てる生涯学習の推進を基盤に、活力ある人づくりと潤いのある環境づくりのため、各種講座・学級・教室を開設しています。

これからも、家庭教育が



教育施設数 (平成17年)

幼稚園	9
小学校	18他分校2
中学校	10
高等学校	2

IKI CITY PROFILE **4**

心豊かな人が育つまちづくり

ら学校教育、青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育に至るまで、生涯を通じて学習機会の充実・体系化を進めていきます。

スポーツ・文化

Sports and Culture

吉岐市のスポーツ活動については、生涯学習とともに広域的な体制を整備するほか、市民誰もが気軽にスポーツに取り組み、楽しめる総合型地域スポーツの振興を推進し、生涯スポーツ活動の機会を拡充していきます。

また、吉岐市の芸術・文化活動については、文化ホールなどの施設を活用し、文化協会をはじめサークル、団体などが地域に根ざした特色ある活動を実施しています。特に、伝統文化として「吉州神楽」や「山笠」などは、保存会を中心に受け継がれ、地域づくりに大きな役割を果たしています。今後、市民の芸術・文化に対するニーズに応えるとともに、地域に根ざした特色ある芸術・文化を創造し、次世代への伝承を行っていきます。



学年別児童・生徒数

単位：人

幼稚園			小学校						中学校			高校		
3歳	4歳	5歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
33	188	179	319	311	329	350	332	335	361	385	371	370	377	376
小計 400			小計 1,976						小計 1,117			小計 1,123		
合計 4,616														

(平成17年)

国内外交流が盛んなまちづくり



交流

Exchange

吾岐市には、自然や歴史的な文化遺産など豊富な交流資源があります。また、九州と韓国の中間に位置し、歴史的にも大陸との交流が盛んな地域でもあります。今後は、この地域特性を生かし、あらゆる分野での多様な交流と、国際交流を推進するため、学校教育や社会教育などを連携させて、外国の言語や文化を学ぶ機会を充実していきます。また、地域の活力を育むため、市民の理解・協働のもと、国内外交流を促進するための施設および体制づくりを推進するとともに、国際感覚豊かな人材の育成や、吾岐を来訪する外国人のための受け皿づくりについても進めていきます。

交通

Traffic

道路については、地域活性化の基盤となる幹線道路における交通円滑化・安全性向上のため、国道、主要地方道、一般県道、1級・

交通機関		(平成17年)
距離	交通機関	所要時間
長崎空港から(北約94km)	飛行機	30分
福岡市博多港から(西北約76km)	フェリー(郷ノ浦港)	2時間20分
福岡市博多港から(西北約67km)	フェリー(芦辺港)	2時間10分
	ジェットfoil(郷ノ浦港)	1時間10分
	ジェットfoil(芦辺港)	1時間5分
唐津市呼子港から(西北約26km)	フェリー(印通寺港)	1時間10分
対馬市厳原港から(南東約68km)	フェリー(郷ノ浦港)	2時間5分
	フェリー(芦辺港)	2時間15分
	ジェットfoil(郷ノ浦港・芦辺港)	1時間

道路		(平成17年)
国道	19km	
県道	87km	
市道	1,413km	
計(道路延長)	1,519km	



2級市道の計画的な道路整備による、幹線道路網の形成を図っていきます。

生活道路といわれる市道は、道路整備や維持・補修に努め、機能性・利便性・快適性の向上を図り、生活に密着した安全で人に優しい道路として逐次整備を進めていきます。

交通手段については、高齢者や子どもなどの通院・通学のため、また、買い物など日常生活の移動手段として、乗合バスを確保し、運行体制を維持しつつ、地域の実情に応じた運行形態の見直しを行っていきます。

情報・通信

Information and communication

近年の情報通信技術の発展は、めまぐるしい速度で進展しています。大きく変化する社会・経済・生活環境を、より豊かに実感できるまちづくりの手段として、情報・通信基盤の整備、住民の情報活用能力の向上による住民参加の情報ネットワークづくりを進めていきます。



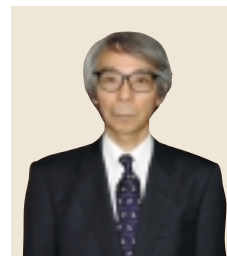
市長 長田 徹



助役 澤木 満義



収入役 布川 昌敏



教育長 須藤 正人



議長 深見 忠生



副議長 小園 寛昭

市長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
1	長田 徹	H16.4.18	現任中

助役

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
1	澤木 満義	H16.5.19	現任中

収入役

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
1	布川 昌敏	H16.5.19	現任中

教育長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
1	高田 國行	H16.3.1	H16.5.19
2	須藤 正人	H16.5.20	現任中

議長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
1	瀬戸口和幸	H16.3.8	H17.7.17
2	深見 忠生	H17.8.8	現任中

副議長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
1	深見 忠生	H16.3.8	H17.7.17
2	小園 寛昭	H17.8.8	現任中

行政・議会

Administration and Assembly

魅力あるまちづくりを進め、住民サービスの向上を図っていくために、職員一人ひとりの資質向上を図りながら、住民サービスの充実を目指し、行政組織の横断的な連携強化や企業等民間活力の導入、住民参加による施策の推進、情報化や情報提供システムの確立など、自治体の運営体制の総合化を進めていきます。

また、まちづくりは、そこに住む人々自らの創意と力の結集によってつくり上



1月 JANUARY
 吉岐の島新春マリン大会(芦辺)
 2月 FEBRUARY
 吉岐吉岐綱引き大会(石田)
 3月 MARCH
 美濃の谷彼岸参り(芦辺)
 春一番風のエステ(郷ノ浦)
 4月 APRIL
 牛まじり(郷ノ浦)
 瀬戸春の市(芦辺)
 勝本春の市(勝本)
 芦辺春の市(芦辺)
 石田春の市(石田)
 5月 MAY
 八日市(郷ノ浦)
 6月 JUNE
 吉岐サイクルフェスティバル
 7月 JULY
 郷ノ浦祇園山笠(郷ノ浦)
 8月 AUGUST
 辰ノ島フェスティバル(勝本)
 夏 夢 祭 on the 清石ヒトチ(芦辺)
 吉岐大神楽(石田)
 かもと土曜夕市(勝本)
 八幡浦かすら曳き(芦辺)
 石田納涼祭り(石田)
 芦辺港花火大会(芦辺)
 吉岐の島夜空の祭典(勝本)
 筒城浜ヒトチフェスタ(石田)
 ツインズヒトチフェスティバル(郷ノ浦)





9月 SEPTEMBER

一支國幼児相撲大会(芦辺)

10月 OCTOBER

吉岐ウインドサーフィン大会(石田)

瀬戸まつり(芦辺)

国分天満宮奉納相撲大会(芦辺)

聖母宮大祭(勝本)

勝本港祭(勝本)

芦辺まつり(芦辺)

石田文化展(石田)

石田野広場(石田)

芦辺町商工祭り(芦辺)

諸吉まつり(芦辺)

湯本温泉祭(勝本)

勝本町文化展・文化祭(勝本)

11月 NOVEMBER

郷ノ浦町文化展郷ノ浦

芦辺町文化展(芦辺)

1000のちびさの日はふるさと商工祭郷ノ浦

芦辺町文化祭(芦辺)

勝本朝市まつり(勝本)

石田町ふるさと文化祭(石田)

石田町産業・商工まつり(石田)

芦辺町産業まつり(芦辺)

12月 DECEMBER

筒城浜クロスカントリー大会(石田)

住吉神社暨戸神楽(芦辺)

歳時記



名所・旧跡

大陸と日本本土の間、玄界灘に浮かぶ志岐の島は、東西15キロ、南北17キロのまるい平坦な島。ここには神々がすむ森と黒潮がはこんでくる豊かな海、そしてひとびとが惹きつけられる豊かな大地がある。

SPOT 03 **岳ノ辻**
標高212.8m。志岐島で一番高い山。約20万年前、玄武岩溶岩流の上に噴出した火砕屑物によって形成された火山砕屑丘(かざんさいせつきゅう)。

SPOT 06 **鬼の足跡**
志岐を代表する景観で、地元では、大鬼のデイが鯨をすくい捕るために踏ん張ってきた足跡で「鬼の足跡」と呼ばれている。

06



SPOT 04 **ツインズビーチ**
塩樽(しおたる)海水浴場と小水浜(こみずはま)海水浴場を合わせてツインズビーチと呼ぶ。小さな入江にある美しい砂浜の海水浴場。

SPOT 07 **辰ノ島**
弓状の浜辺は遠浅の白い砂浜で美しく、観光客には人気が高い。海浜植物群落や蛇ヶ谷など見所も多い。

07



SPOT 05 **清石浜(くよしはま)海水浴場**
芦辺港の南東に広がる約500mの美しい砂浜が清石浜である。シーズンオフにはサーフィンやバードウォッチング、ビーチコーミングなども楽しめる。

SPOT 08 **志岐風土記の丘**
歴史散策公園。敷地内には江戸時代中期の様式の古民家を建築復元。管理棟には市内にある遺跡からの出土品を展示している。

08



02

志岐安国寺

SPOT 02

1338年(暦応元)、足利尊氏と直義は、平和祈願と元寇以来の戦死者の菩提を弔つため、全国66ヶ国と2島に安国寺建立を命じた。志岐では従来あった海印寺を安国寺にあてた。開山は京都南禅寺の禅師無隠元暉(むいんげんかい)である。「師子窟(ししくつ)」の額が掛かる仏殿は、二重屋根の重厚な建築物。室町時代の貴重な宝物が多く、なかでも高麗版大般若経は国の重要文化財で、境内の一角にある宝物展示館で見ることができる。また、境内のスギの巨木が目玉をひく。

猿岩

SPOT 01

黒崎半島のさらに先端にある高さ45mの海蝕崖(かいしょくがい)の玄武岩。そっぽを向いた猿にそっくりで、気紛れな自然の造形に驚かされる。志岐島誕生の神話によると、「志岐の国は生き島である。神様が海の中でこの島をお産みになったとき、流されてしまわないようにと8本の柱を立てて繋いだ。その柱は折れ残り、今も岩となって折柱(おればしら)といわれている」とある。その8本の柱のひとつが猿岩である。

01



09

男嶽(おんだけ)神社の石猿群

SPOT 09

猿田彦命(さるとひこのみこと)が祭神。拜殿横の石段には200体を超す石猿が並んでいる。



10

筒城浜

SPOT 10

海岸線の全長およそ600mで志岐を代表する海水浴場。白砂青松の美しい浜は、日本古来の自然美を残した海岸風景で絶景である。



11

蛇ヶ谷(じゃがたに)

SPOT 11

勝本層の垂直節理が波によって浸食されて広がり、数10mの断崖になっている。辰ノ島海水浴場とは対照的に、男性的でダイナミックな風景である。



12

鬼の窟(いけや)古墳

SPOT 12

6世紀後半～7世紀前半頃の築造。直径45m、高さは13m。内部は大きな玄武岩を幾つも積み上げた横穴式。

SPOT 13 **住吉神社**
祭神は底筒男神(そこつつおのみこと)、中筒男神、表(うわ)筒男神、相殿に八千戈神(やちほこのかみ)で、明治4年、国幣中社に列格。

SPOT 14 **春一番の塔**
1859年(安政6)、春一番により地元の漁師53名が遭難した。昭和62年、郷ノ浦港入口の元居公園に、船の帆をイメージした「春一番の塔」が建てられた。

SPOT 15 **国分寺跡**
1738年に中野郷の阿弥陀堂と合し、「国分寺」と改名。現在は数個の礎石が残る空き地になっている。

SPOT 16 **金蔵寺(こんぞうじ)の銅造如来形坐像**
右手は親指と中指を捻じ、左手は親指と薬指を捻じるといふ特殊な印を結んでいる。像高73.4cmの高麗仏。渡来金銅仏の優品である。

SPOT
18

文永の役新城古戦場

千人塚の中央に元寇殉国忠魂塔が建ち、左脇には観音像、右脇に本来の千人塚の標石である自然石が2基ある。

SPOT
22

はらぼげ地蔵

六地蔵は六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天)において衆生の苦患を救うという六種の地蔵である。海女(あま)で有名な八幡浦の海中に祀られている。

22



SPOT
19

元寇の礎石(いかりいし)

左京鼻沖で発見された。中国製の石を使っているが、日本軍の船の礎石ではないかともいわれている。いまは少貳(しょうじ)公園にある。花崗岩(かこうがん)製。

SPOT
23

月読(つくよみ)神社

京都の月読神社は、487年、吉野の梟首(あがたぬし)の先祖忍見宿禰(おしみのすくね)が吉野から分霊したもので、ここが神道の発祥の地とされる。

23



SPOT
20

吉野芦辺風力発電所

年間平均風速6m/s以上の風が吹く吉野は、風の島。島の北岸に大陸からの海風を利用した風力発電所がある。

SPOT
24

万葉公園

眼下には遣新羅使一行が入港した印通寺港や雪連宅満(ゆきのむらじやかまる)の墓地のある丘、弥生時代の環濠集落跡である原の辻遺跡などが見える。

24



SPOT
21

左京鼻

海鵜(うみう)のおびただしいフンに覆われているが、遠目には武骨な玄武岩が化粧を施したように美しい。

SPOT
25

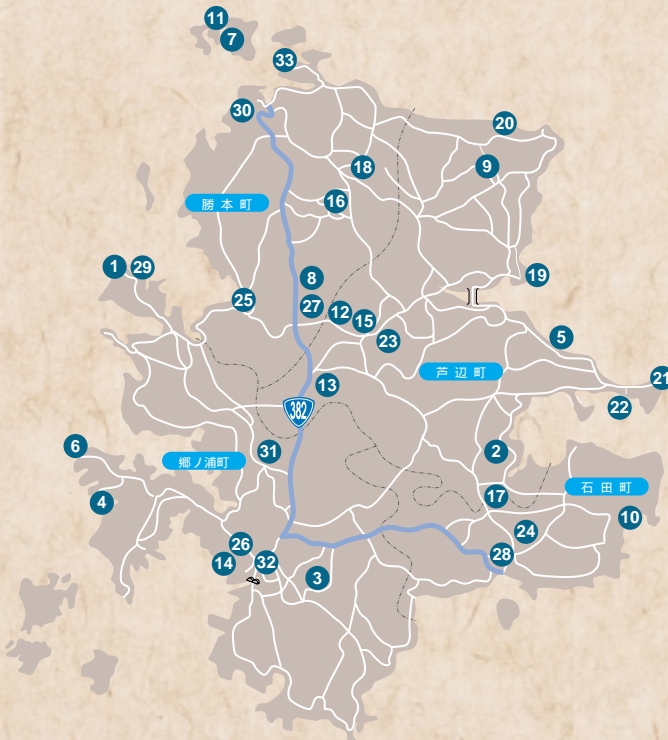
湯ノ本温泉郷

吉野島北西岸、美しい島々に夕日が映える風光明媚な温泉郷。現在の泉源数17ヶ所、泉温は69℃、泉質はナトリウム塩化物温泉。

25



17



原の辻遺跡

SPOT
17

紀元前3世紀から紀元4世紀にかけて形成された大規模な多重環濠集落で、芦辺町と石田町にまたがる台地上を中心に、東西・南北ともに約1km四方に広がっている。平成7年、原の辻遺跡は『魏志倭人伝』の中の「一支国」の王都と特定された。発掘調査途中のため、古代史を書き換えるような発見が相次いでいる。平成12年に弥生時代のものとしては国内3ヶ所目の国特別史跡に指定。



26



27



28



29

ステゴドン象の化石

SPOT
26

昭和46年、流紋岩(りゅうもんがん)が露出した海岸でステゴドン象の化石が発掘された。化石は吉野郷土館に展示してある。

掛木古墳

SPOT
27

6世紀末～7世紀前半の築造。円墳で、墳丘の直径は約30m。県下で唯一の「くり抜き式家形石棺」を持つ古墳として有名。

松永記念館

SPOT
28

「日本の電気王」・「電力の鬼」と称された松永安左衛門の功績を伝えるために、生家跡に建設。生前愛用した所持品や文書などが展示されている。

黒崎砲台跡

SPOT
29

口径41cmのカノン砲2門の砲台で砲身の長さ18.83m、弾丸の重さ1t、最大射程距離約35km。一発も実弾を発射することがなかった。

勝本城跡

SPOT
30

1591年(天正19)豊臣秀吉が朝鮮出兵にそなえて平戸藩主松浦宗信(まつらむねのぶ)に命じて築城させたもの。海拔78.9mの山頂部に築城。国指定の史跡。

祥雲寺(しょううんじ)の山門

SPOT
31

明治42年に建立。石工は地元の茶屋本初蔵(ちやもとつぞう)、44歳の時の作である。初蔵はこの他にも住吉神社の石垣、水神社の石灯籠など優れた仕事を残している。

国津意加美(くにつおがみ)神社

SPOT
32

境内の狛犬(玉含獅子・子抱獅子)の一對は吉野の名工・山内利兵衛(やまうちりへい)の傑作といわれている。1862年(文久2)献納。利兵衛63歳の時の作。

串山海水浴場

SPOT
33

勝本港の東海岸にある。磯あそびとして開放された(有料)磯物の宝庫・根島も隣接する。



市章

壱岐の「i」をモチーフとし、躍動する曲線で「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、壱岐」の更なる飛躍する姿を力強く表現。また、漢字の「人」で波を表し、壱岐を訪れる多くの人々との出会いと交流をイメージ。赤は活力と未来へ輝く太陽、緑は自然に恵まれた豊かな暮らしを意味します。



市の花木

やぶ橘

市内全域にわたり自生する常緑高木で、「カテシノキ」として、市民に親しまれています。また、種子からはつばき油も採れ、私たちの生活にも関わりのある花木です。



市の花

水仙

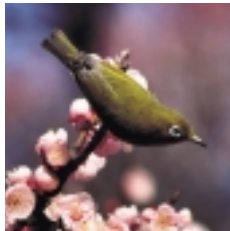
市内のいたる所に群生し、親しみが有り、清楚で気品があります。多年草の花で、耐寒性があり育てやすく、厳冬の中に花を見ると春の訪れを感じることのできる花です。



市の木

まき

市内に自生する常緑高木で、強風・塩害・病害虫に強く、庭木・生け垣・用材として広く利用されており、生活になじみの深い木です。



市の鳥

めじろ

市内に広く生息し親しみが有り、可愛くさえずります。目をふちどる白い輪が特徴です。身近に見られ、美しく、愛らしい鳥です。

壱岐市 市歌

壱岐洋洋

作詞・藤本健人 / 作曲・小椋 佳 / 編曲・川辺 真

1. 春一番に さそわれて
花咲き海の 碧が増す
いとなみ刻む 手をつなぎ
明るい希望 奏でよう
はばたく壱岐の 空映ゆる
はばたく壱岐の 空映ゆる

2. 海とみどりに 育まれ
ゆたかな恵み わかち合う
心ひとつに ときめいて
新たな息吹 生み出そう
きらめく壱岐の 島萌ゆる
きらめく壱岐の 島萌ゆる

3. 玄界灘の 波うけて
島に弥生の 風薫る
永い歴史を 承け伝え
輝く未来を 見つめよう
ゆらめく壱岐の 海光る
ゆらめく壱岐の 海光る



長崎県 壱岐市

〒811-5193 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触682番地 TEL.0920-48-1111 FAX.0920-48-1553

URL <http://www.city.iki.nagasaki.jp> E-mail iki@city.iki.nagasaki.jp

郷ノ浦支所・税務課	〒811-5192	長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触562番地	TEL.0920-47-1211	FAX.0920-47-4844
勝本支所	〒811-5521	長崎県壱岐市勝本町西戸触182番地5	TEL.0920-42-1111	FAX.0920-42-1116
芦辺支所	〒811-5392	長崎県壱岐市芦辺町芦辺浦562番地	TEL.0920-45-1111	FAX.0920-45-0996
石田支所	〒811-5215	長崎県壱岐市石田町石田西触1290番地	TEL.0920-44-6111	FAX.0920-44-6020
市民生活部	〒811-5133	長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触620番地	TEL.0920-48-1212	FAX.0920-47-0500
議会事務局	〒811-5521	長崎県壱岐市勝本町西戸触182番地5	TEL.0920-42-1111	FAX.0920-42-0096
選挙管理委員会・監査委員事務局	〒811-5392	長崎県壱岐市芦辺町芦辺浦562番地	TEL.0920-45-1111	FAX.0920-45-0996
農業委員会事務局	〒811-5215	長崎県壱岐市石田町石田西触1290番地	TEL.0920-44-6111	FAX.0920-44-6020
教育委員会	〒811-5192	長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触562番地	TEL.0920-47-1211	FAX.0920-47-4955
教育委員会石田支所駐在	〒811-5221	長崎県壱岐市石田町池田東触671番地1	TEL.0920-44-5179	FAX.0920-44-5268
消防本部	〒811-5757	長崎県壱岐市芦辺町中野郷西触411番地2	TEL.0920-45-3037	FAX.0920-45-0992
壱岐市民病院	〒811-5132	長崎県壱岐市郷ノ浦町東触1626番地	TEL.0920-47-1131	FAX.0920-47-5607
かたばる病院	〒811-5136	長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触2510番地	TEL.0920-47-1135	FAX.0920-47-4955